

## 令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	特定非営利活動法人アットマーククリアスNPOサポートセンター			代表者名	鹿野 順一
担当者部署	事務局			連絡先電話番号	0193-27-8400
担当者役職	次長	担当者氏名	横澤 京子	連絡先E-mail	
住所	026-0021 岩手県釜石市只越町1-3-2				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	釜石市役所	連絡先部署	総務企画部総合政策課DX推進室		
担当者氏名	佐藤 政弘	連絡先電話番号	0193-27-8413	連絡先E-mail	

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	<ul style="list-style-type: none"><li>デジタル（DX）を活用した官民連携の仕組み作りに向け、現在関係性が構築出来ている釜石市DX推進室、釜石市社会福祉協議会、釜石商工会議所に加え、今後、金融機関（信用金庫）、農業協働組合、漁業協働組合等に機関も交えたプラットフォームを構築すること</li><li>DX推進を進める上で、行政のまちづくり、商工観光、などの担当課にも声がけするとよいなどの今後のアクションに向けたアドバイスがあった。</li></ul>
アドバイザーへの要望事項	特にありません。

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年12月20日	事前打合せ(オンライン)	有	令和5年12月13日	1089
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年12月26日	事前打合せ（オンライン）	10時00分	11時30分	
				活動時間（分）	90
3-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

### 4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	<a href="https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/">https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/</a>
------	---------------------------	---

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	事業に関わる理事	2人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	地域高齢者が課題を確認するため、市内復興公営住宅に住む高齢者数世帯にヒアリングを行ったところ、想定通り、買い物、防災、高齢者を支えるコミュニティの課題が明らかとなった。また、これらの課題解決に向けたデジタル活用の取り組みを考える時、一番の課題が高齢者世帯のインターネット環境がない世帯が多いという事が解った。 ※現在、釜石市においてはインフラ環境はあくまで個人で整えるものであるとの認識であることから、DX推進計画や総合計画には明確に記載はない。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	近い将来に訪れるデジタル化社会において、DXが私たちの生活や地域にどのような変化をもたらすのか、また誰もが使える仕組みとして広げていくための取り組みや地域（暮らし・産業）のDXについて講義を依頼したい。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	勉強会のテーマは「くらしのDX」とし、くらしの中で情報をどのようにチャットするのか。これまで自治体では広報誌とホームページで情報発信しているため市民はチャットすることでほうかん出来るという事であった。中間で情報を回す組織（NPOや社会福祉協議会）に向けた情報の出し方を意識すると違った動きが出てくるのではないかと。釜石市、釜石市福祉協議会、NPO（アットマーククリアスNPOサポートセンター）、釜石商工会議所が思いで情報を発信していると受けて（市民）が一緒の場合、情報がつながっていないと混乱する。 ・釜石市広報担当、中間の受けてである釜石市福祉協議会、NPO（アットマーククリアスNPOサポートセンター）、釜石商工会議所がどのような情報を発信するか相談し、抜け漏れがないように情報量を整理する事で、地域全体の情報と防災につながることを勉強会の中心にするとよい。	

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	くらしのDX勉強会の内容について整理が出来た。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特にありません。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 勉強会開催に向けた事前の打ち合わせのため、アンケートは実施しておりません。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿		

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

#### 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

